

▼高架化の検討が行われているJR京都線



自民党・蒼政会議員団

## 厳しい財政状況への 計画的な改革の推進と 活力あるまちづくりを

※竹中 健 田村 規子  
福井 浩二 真鍋宗一郎

※は発言者

### 富田地区の再構築 阪急及びJRの高架化は

議員 富田地区の再構築及び阪急京都線・JR京都線の高架化について見解を伺います。

**市長** 富田地区は公共施設がまとまって存在する重要な都市拠点であり、公共施設の再構築をエリア一体で検討することが重要と考えています。高架化に関しては、阪急京都線では、まずはまちづくりの取り組みが重要なため、富田地区交通まちづくり基本構想に基づき、本市及び地元が各種取り組みを進めています。一方、JR京都線では、4つの開かずの踏切の解消をはじめ、地域住民の悲願でもある富田奈佐原線の整備や茨木市との都市間連携が図られるなど、大きな事業効果があると考えます。

### 財政状況 今後の対応は

議員 市の財政見通しで

は、平成32年に経常収支比率が100%を超え、37年には基金残高がほぼ底を突くとの厳しい財政状況が想定されていますが、対応策等について伺います。

**市長** 今後、更なる高齢化の進行に加え、人口減少による市税収入の減少、更には公共施設の老朽化への対応等により、これまで以上に財政運営は厳しいものになると考えています。こうした状況を回避するためにも、先進市等の取り組みを研究するとともに、適切な定量的目標と推進スケジュールを設定し、計画的に改革を推進していきます。

### 小学生の放課後の居場所 部署を超えた議論を

議員 小学生の放課後の居場所づくりに関し、既存事業の連携だけでなく、部署を超えて議論し、課題整理することが必要と考えますが、小学生の放課後のありべき姿への認識を含め、見解を伺います。

**市長** 子どもはよく学びよく遊ぶことが大切であり、放課後は、子どもたちが自由に遊び、自発的に伸び伸びと活動できることが望ましいと考えます。また、子どもの居場所づくりの観点から、様々な取り組みが模索されていることを踏まえ、庁内連携して課題の把握や情報共有を図っていきます。

### 高槻インターチェンジ等 周辺のまちづくりは

議員 高槻インターチェンジや十三高槻線周辺のまちづくりでは、雇用拡大や税収増加のためにも、企業誘致を含めたまちづくりが望ましいと考えますが、見解を伺います。

**市長** インターチェンジ周辺の土地

画整理事業では、企業立地による雇用創出が期待され、固定資産税の増など、本市の経済活力の増進に大きく寄与するものと考えています。一方、十三高槻線沿道でも、牧野高槻線が交差する前島地区はインターチェンジ周辺と匹敵するポテンシャルがあると考えています。本市では、新たな幹線道路の整備を契機とし、経済活力の増進に寄与するまちづくりの実現に向けて取り組みます。



▲周辺地域の経済活力の増進が期待される高槻ジャンクション・インターチェンジ